

◆ 令和4年度の道路整備目標

●鹿児島県では，“かごしまこれからのみちづくり21”の基本方針である、『広域的な交流ネットワークの形成』、『人・環境にやさしい道路空間の形成』、『災害に強い道路ネットワークの形成』、『地域社会を支える道路ネットワークの形成』を目指し、道路整備を進めます。

基本方針	整備指標	R2実績値	R3実績値	目標値(R4末)	備考
(1)広域的な交流ネットワークの形成	高規格幹線道路の供用率	77%	85%	85%	
	地域高規格道路の供用率	58%	58%	58%	
(2)人・環境にやさしい道路空間の形成	事故危険箇所対策済み率 (道路管理者対策分)	—	8%	38%	警察庁と国土交通省が過去4年間に発生した交通人身事故の状況を分析し、事故危険箇所を指定。 [県管理道路の対策状況] 平成29年1月指定：16箇所(すべて対策完了) 令和4年3月指定：13箇所
(3)災害に強い道路ネットワークの形成	防災対策箇所整備率	85%	86%	86%	
	橋梁の耐震補強箇所着手数	1箇所	4箇所	9箇所	緊急輸送道路上の地震の発生確立が高い地域における橋梁(対象17箇所)
(4)地域社会を支える道路ネットワークの形成	安心とゆとりの創出時間 (達成率)	2,119時間 (98%)	790時間 (100%)	1,376時間	

◇整備指標の解説

整備指標	指標の内容	指標の示す目標
高規格幹線道路・地域高規格道路の供用率	<p>◆県内の高規格幹線道路及び地域高規格道路の計画延長に対して、これら道路の供用（開通）された割合</p> <ul style="list-style-type: none"> 高規格幹線道路の計画延長：248km 地域高規格道路の計画延長：178km 	<p>◆本県の遅れている高規格幹線道路や地域高規格道路を整備することにより、広域的な人・モノの交流が盛んになり、県民の生活が便利で豊かになります。</p>
事故危険箇所対策済み率	<p>◆幹線道路の平均事故率の5倍以上、事故が発生している箇所など、国が指定した事故危険箇所数のうち対策が行われた箇所数の占める割合</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月に全国2,748箇所が指定されている。 県管理道路：13箇所 	<p>◆事故危険箇所の減少により、車両や歩行者の安全な通行が可能になり、安心して通行できる道路になります。</p>
バリアフリー化歩道整備率	<p>◆段差や勾配が急な歩道で、バリアフリー化が必要とされる歩道の箇所数のうち、整備が行われた箇所の占める割合（下記に要対策箇所数を示す。）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県管理道路：9,640箇所（H29調査を基準） 	<p>◆歩道の段差等を解消することにより、高齢者や障害者等の安全で快適な通行の確保が可能となります。</p>
防災対策箇所整備率	<p>◆平成8年度に全国的に行われた防災点検で判明した、県内の要対策箇所のうち、整備が行われた箇所の占める割合（下記に要対策箇所を示す。）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県管理道路：936箇所 	<p>◆防災点検要対策箇所の解消により、通行止めが減少され日常生活や産業活動の利便性向上に寄与します。また、安全に通行できる信頼性の高い道路になります。</p>
橋梁の耐震対策箇所着手数	<p>◆平成8年より古い道路橋示方書により設計された複数径間を有する側道橋以外の橋梁のうち、緊急輸送道路上の「今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が26%以上にある地域」に該当する橋梁について、落橋防止構造の構築、橋脚補強、支承部補強などの耐震補強の整備を進めていく箇所数（下記に要対策箇所を示す。）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県管理道路：17箇所 	<p>◆緊急輸送道路上にある橋梁の耐震補強の整備により、地震による橋梁の被災を最小限にとどめ、緊急輸送のできる道路になります。</p>
安心とゆとりの創出時間	<p>◆道路改良事業により創出される安心・快適な走行時間とゆとりの時間に、事業箇所の将来交通量を乗じた合計値。</p>	<p>◆安心とゆとりの創出時間の向上により、県内の国道・県道を安全に走行できる時間の増加及び道路改良事業による走行時間の短縮につながります。</p>

◆ 令和4年度に実施する道路整備(みちづくりの基本方針)

(1) 『広域的な交流ネットワークの形成』

高規格幹線道路・地域高規格道路の供用率によって効果を検証します。

問題点
● 広域交通ネットワークの整備が不十分

対応策

- ◆ 高規格幹線道路
 - 東九州自動車道(国直轄事業)
 - 南九州西回り自動車道(国直轄事業)の整備
- ◆ 地域高規格道路
 - 鹿児島東西幹線道路(国直轄事業)
 - 北薩横断道路(県事業)
 - 都城志布志道路(県事業)
 - 大隅縦貫道(県事業)の整備

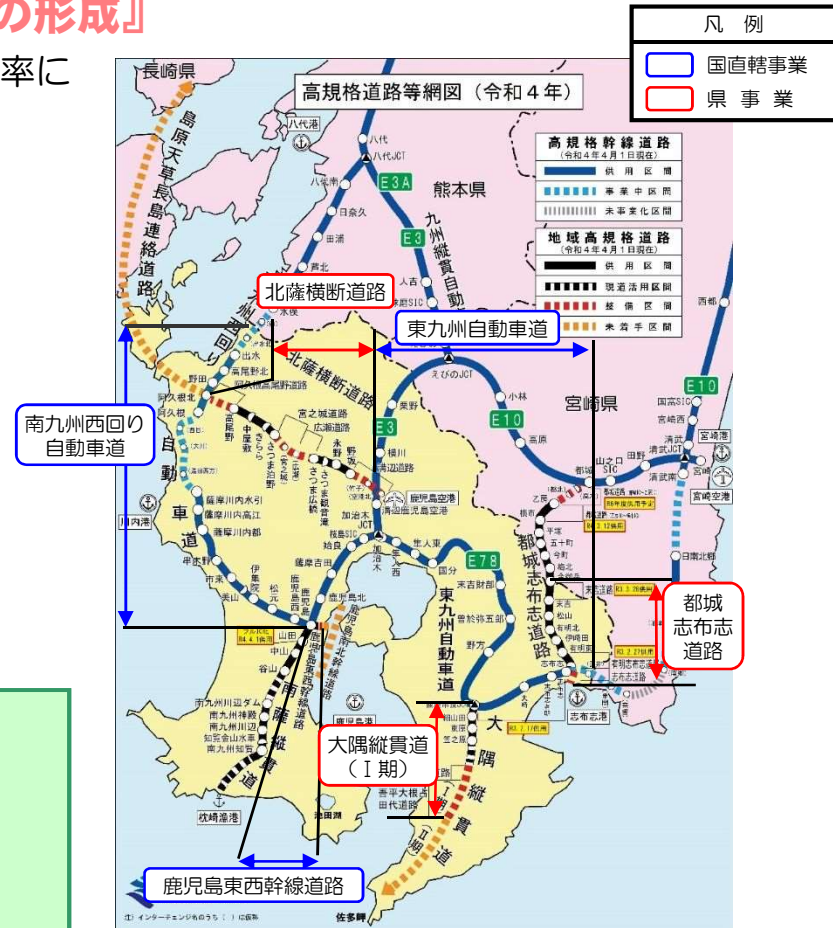
効果

- ◆ 高規格幹線道路の供用率

【R3実績値】	【R4年度】
85%	85%
- ◆ 地域高規格道路の供用率

【R3実績値】	【R4年度】
58%	58%

※現道活用区間を含んだ場合



(2) 『人・環境にやさしい道路空間の形成』

①事故危険箇所対策済み率によって効果を検証します。

問題点

- 交通量の集中
- 視距不良や道路線形不良
- 歩車道分離の遅れ

対応策

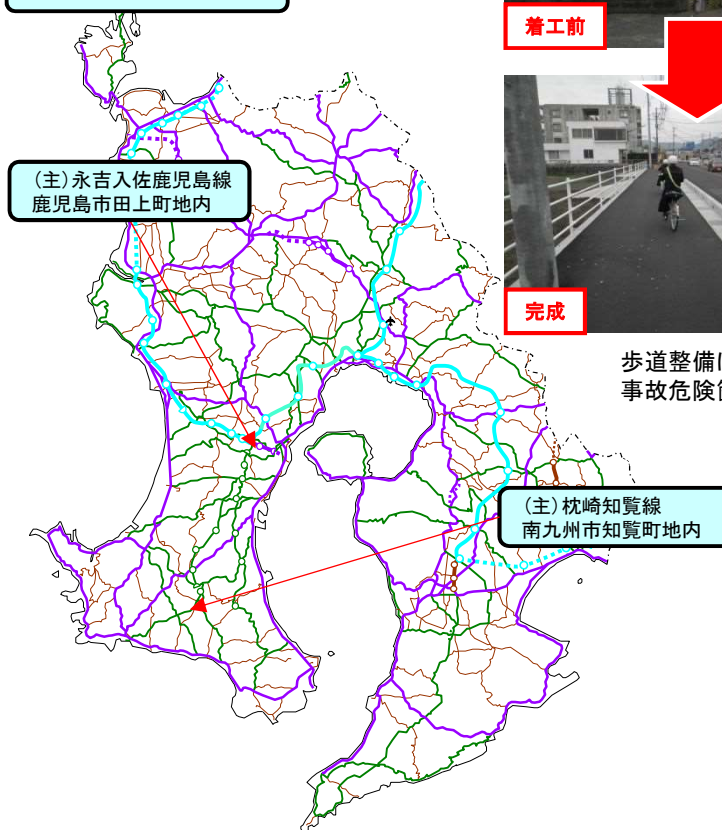
- ◆交差点の改良や右左折車線の整備
- ◆視認誘導標の設置や区画線の整備
- ◆歩道の整備など県内各地で整備を進めています。

効果

- 事故危険箇所対策済み率

	【H29指定】	【R3指定】
指定箇所	16箇所	13箇所
対策済み	16箇所	1箇所
整備率	100%	8%

主な事故危険箇所



着工前



完成

歩道整備による
事故危険箇所の対策

②バリアフリー化が必要な歩道改善必要箇所の整備により効果を検証します。

問題点

- 歩道の段差や急勾配箇所により、高齢者や車いす利用者に不便を来している

対応策

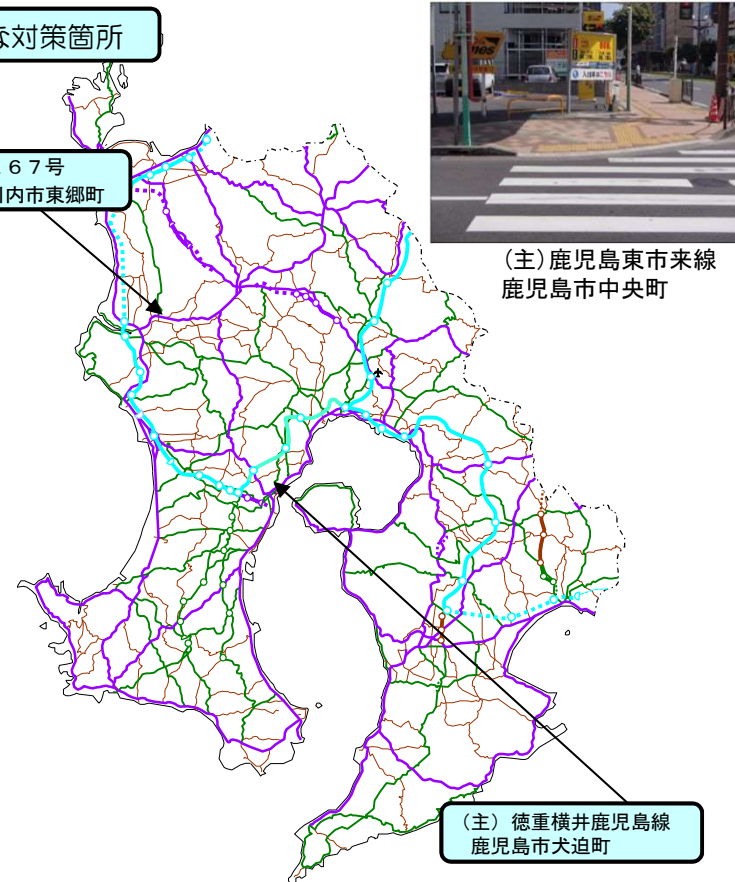
- ◆適切な段差・勾配が確保されていない歩道のバリアフリー化などを県内各地で整備を進めています。

効果

- バリアフリー化歩道整備
【R3年度実績】
261箇所

主な対策箇所

国道267号
薩摩川内市東郷町



(3) 『災害に強い道路ネットワークの形成』

①防災対策が必要な箇所を整備する割合により効果を検証します。

問題点

- 梅雨前線や台風による集中豪雨の発生
- 県土の大半がシラス土壌
- 異常気象時の通行規制

対応策

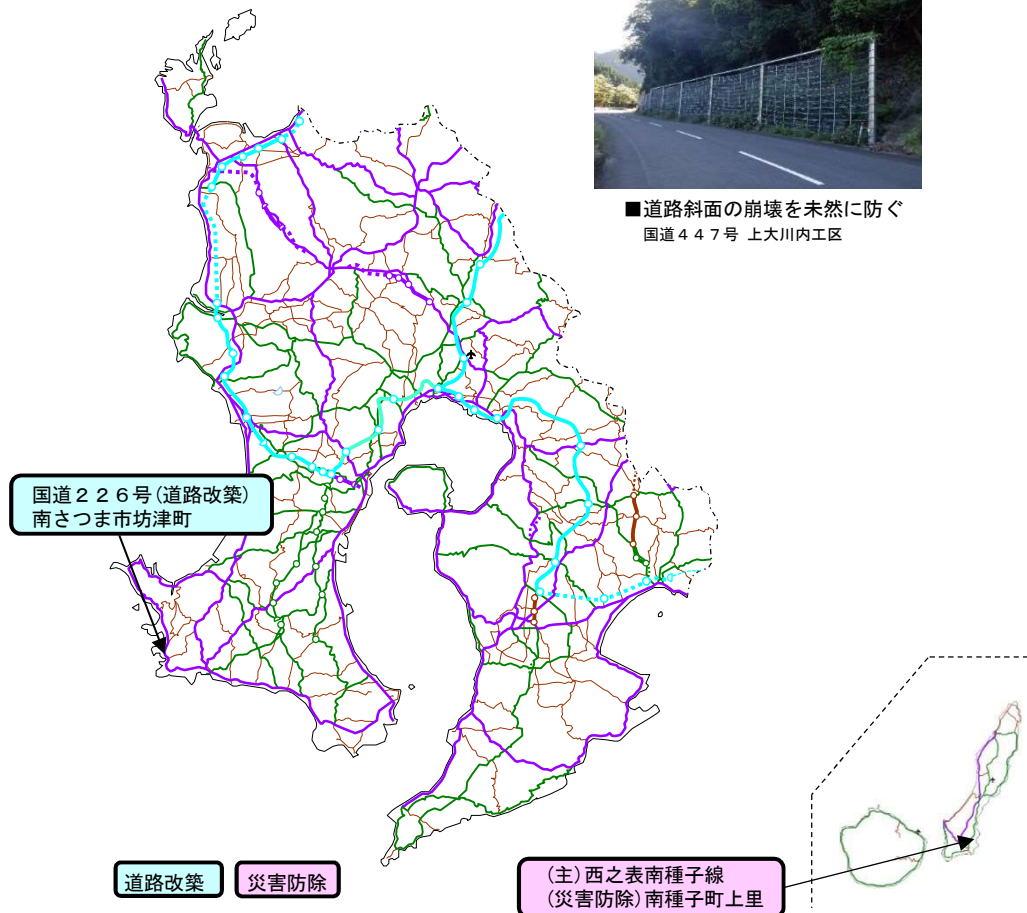
- ◆危険箇所を迂回するための、バイパスや橋梁・トンネルの整備
- ◆危険箇所が崩壊しないように、対策を講じる災害防除など県内各地で整備を進めています。

効果

- 防災対策箇所整備率
【R3実績値】
86% (802箇所)



■道路斜面の崩壊を未然に防ぐ
国道447号 上大川内工区



②橋梁の耐震補強が必要な箇所を整備する割合により効果を検証します。

問題点

- 地震時の落橋・倒壊の防止に加え、路面に大きな段差が生じないなど、地震後に橋梁の機能を確保できるような対策が必要な橋梁が残されています。

対応策

- ◆平成8年より古い道路橋示方書により設計された複数径間を有する側道橋以外の橋梁の耐震補強を令和2年度から実施しています。
- ◆対象橋梁のうち、緊急輸送道路上の「今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が26%以上にある地域」に該当する橋梁（17箇所）の耐震補強を優先的に実施していきます。
- ◆落橋防止構造の構築，橋脚補強，支承部補強により耐震対策を実施します。

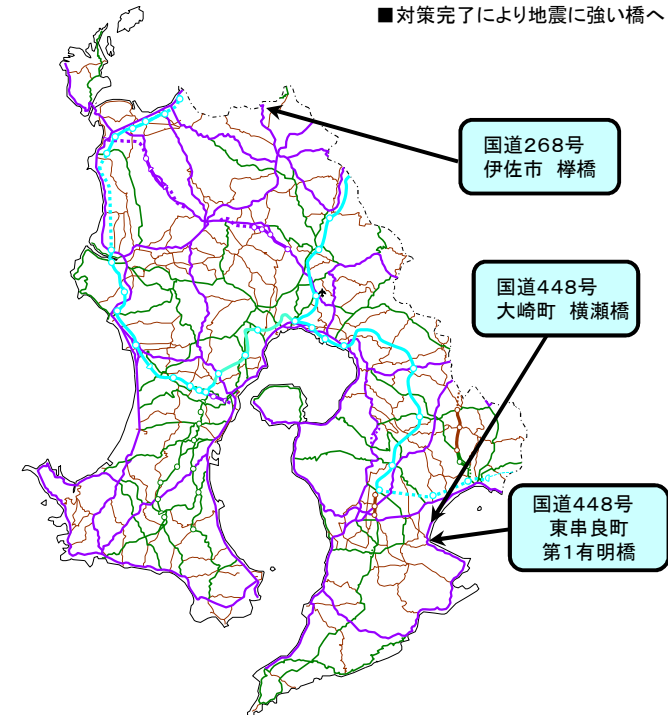
効果

- 耐震対策箇所着手数
【R3着手数】 3箇所／17箇所

主な対策箇所



■対策完了により地震に強い橋へ



(4) 『地域社会を支える道路ネットワークの形成』

『安心とゆとりの創出時間』により検証します。

問題点

- 本県では、移動の交通手段として、大部分を自動車交通に依存しており、安心して利用できる道路の整備が必要とされています。

対応策

- ◆安心して走行できるように、現道の拡幅工事やバイパス工事を行っています。

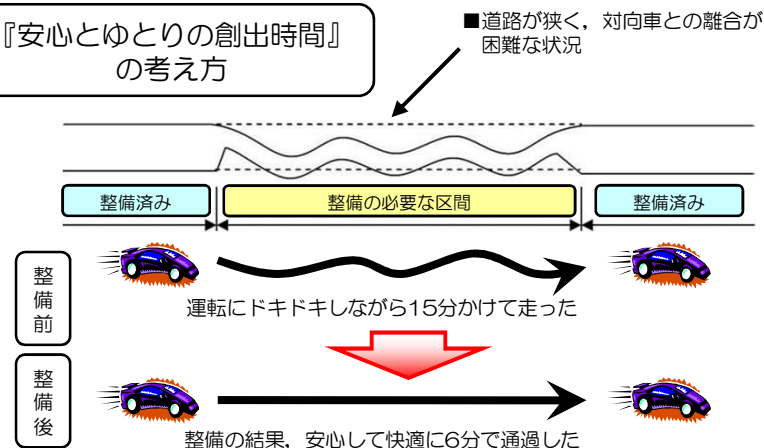
効果

- 安心とゆとりの創出時間
【R3実績値】
(安心走行時間) (ゆとり時間)
532時間 + 258時間 = 790時間

『安心とゆとりの創出時間』について

本県では、道路拡幅工事やバイパス工事の効果を表す指標として、『安心とゆとりの創出時間』を算出し、整備効果の検証を行っています。
平成21年度～令和4年度の14年間で、16,474時間の創出を計画しています。

『安心とゆとりの創出時間』
の考え方



道路整備によって、

- ①ドキドキしないで走れた「6分」という安心・快適な走行時間
- ②「15分」を「6分」に短縮したことで、「9分」のゆとりの時間が新たに生まれた。

●安心とゆとりの創出時間 = ① + ②

①安心走行時間

整備後延長 / 整備後速度 × 交通量
[自動車1台当たりの安心時間]

②ゆとり時間

(整備前延長 / 整備前速度 - 整備後延長 / 整備後速度) × 交通量
[1台当たり整備前通過時間] [1台当たり整備後通過時間]

※交通量の多い箇所を整備することで、安心とゆとりの創出時間が増える